

INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：池上幸平 副会長：唐澤千明 幹事：熊谷 健 公共イメージ向上委員長：田中真人



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022 国際ロータリーのテーマ
**奉仕しよう みんなの
 人生を豊かにするために**

2021-2022 RI会長
 シェカール・メータ
 <インド (西ベンガル州) >



第1597回例会 令和3年10月12日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 鈴木一比古ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介 ・NPO法人 伊那谷森と人を結ぶ協議会
 代表理事 稲邊謙次郎様



■ 会長談話 池上幸平会長



今日は私の仕事に関係した話をしたいと思います。

オリンピック、パラリンピックが終わってまだ日が経っていないのですが、今回授与されたメダルは5000個だそうです、いらなくなったり、壊れたりした小型家電等から取り出した金属で作られたものです、その原材料の出どころは私たちの生活している家庭からです。皆さんは鉱山の山主です、都市鉱山と言いますが原材料は以前は燃えないゴミの日に伊那市に出していましたが、中国との貿易摩擦の中から起こった問題と、日本には資源が無いので使えるものは使いましょうとして法律化してリサイクルする工程を見つけ出して来たのだと思います。携帯電話やパソコン、ゲーム機、電卓など使えるものは400種類以上あるようです、日本では使用済み家電が年間65万トンで有用な金属が含まれている物が28万トンあるようです。金メダル一つにパソコンならば20台携帯電話ならば200台が必要のようです、今回のオリンピックでメダルを作るのに金が、32キロ、銀が3500キロ、銅が2200キロ必要だったようです。皆さんの身近にある生活必需品から作られたメダルに感じる物があります。今日は稲邊様の植林についての話をこれから伺うわけですが、自分たちは大自然の中に生かされて居るわけですが、自分たちが暑いとか、寒いとか感じて木を伐り火を焚いて暖を取ったり電気を作ったりのそれなりの知恵をつかい便利な生活をしてきましたが山の現在の状態、これから先どんな状態になるのかなと思います。現在の日本の木材は家や机、椅子、棚等を作るために作っているのではなく電気を作るためのバイオマス燃料として流通しているものが大半だと思いますがCO2削減35年後にはノーカーボン等、自然環境に優しい目標を掲げ以前とは違う用途で使用されて、良いのか、悪いのかは別として以前の目的とは違う状況で大量に流れているのが現実でわかないかと思ひます、

山から木を伐りだしてその後の山は荒れるだけでほったらかし、山を作るという作業には1本の木が切れるまでには40~50年位が必要だとすれば私達1代でできる仕事ではないと思ひます、切ったら山

を再生させる作業、植林をして、下草刈りをし、下枝払い等の作業を何回も何回もの繰り返しの連続です。1本の木を植林して2本で林、3本で森林になりやがて山にするには大変ですが怠らぬと思えます。

後ほど稲邊様の話も聞いて参考にしたいと思います。

■ ニコニコボックス

- ◆池上幸平 NPO法人伊那谷森と人を結ぶ協議会 代表理事 稲邊謙次郎様、10月24日(日) 市民の森整備事業へ向けて事前学習の卓話、よろしくお願い致します。
- ◆熊谷健 NPO法人伊那谷森と人を結ぶ協議会 代表理事 稲邊様、一昨年に続き2度目の卓話をいただくこととなります。宜しくお願い致します。10月24日の「市民の森整備事業」に役立てるため、有意義な例会でありますように！
- ◆小椋文成 稲邊様、本日は卓話をよろしくお願い致します。
- ◆平澤理 稲邊様、本日の卓話をよろしくお願い致します。又、10月24日「市民の森整備事業」でお世話になります。
- ◆井上修 伊那市議会を傍聴させて頂きました。大した事は議論していませんでしたが、例会で行くのも一興かと思えました。伊那中央ロータリーの4人は立派でしたよ。

■ 幹事報告 熊谷健幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・奉仕プロジェクト委員会より 宮下健奉仕プロジェクト委員長



昨年度より当クラブは、伊那市社会福祉協議会へ「生活困窮者支援」とし12万円を継続的に寄付する事としています。

多くの企業や団体がお金や物品を寄付してそれで終わりと言う中で、寄付金がどのような形で使われるのか…。我々自身が現状を勉強しなければ継続的な支援の意味がございません。ついては8月より、私と太田会員は地域ボランティアとして「伊那市カレー大作戦」へ参加させて頂いています。また、子どもの未来応援隊にも登録させて頂いています。

伊那市カレー大作戦の詳細はチラシをご覧ください。

・「ロータリーの友」10月号紹介 松田靖宏会員



“ロータリーの友”紹介をさせていただきますが、持ち時間が5分と短いので、私がかれは是非読んでいただきたいと思うところだけ抜粋して紹介をさせていただきます。

横組み5ページ、シェカール・メータRI会長のメッセージをご覧ください。4ページでは会長ご夫妻が“END POLIO NOW”という文字の入ったTシャツを着ている

写真が掲載されています。ポーズの指の形はあともう少しで撲滅の意味でしょうか？10月24日はポリオデーとの事で、ポリオ根絶に向けた活動の成果と、今後より一層の協力を求めています。それに関連して、横組みの41ページにロータリー財団管理委員長が“難問に立ち向かおう”と題してポリオの現状と、これからの戦略が書かれていますので合わせてお読みいただけたらと思います。

次に、横組みの12ページをご覧ください。よねやまだよりで、“山月記の虎”と大きく見出しが載っていますが、ロータリー米山記念奨学生のキム イクスさん、韓国の方ですが、中島敦の短編小説「山月記」を読んで感じた事、これからの人生の心構えが書かれています。一読しただけで、キムさんが奨学生に相応しい素晴らしい学生だったことが良くわかります。とても良い内容ですので、お読みいただけたらと思います。

その右の13ページをご覧ください。“山月記の虎から四半世紀を経て”との題で、そのキムさんが米山月間特別寄稿をされています。実はキムさん、現在は信州大学学術研究院の教授で、世界で初めて超極細繊維ナノファイバーの量産に成功し、実用化への道を作ったナノファイバーの第一人者です。信大のナノファイバーの事はメディアでも何度か紹介された事がありますのでご存知の方も多と思います。現在は、そのナノファイバーを使って様々な物が開発されており、今後のご活躍が期待されています。

キム教授が、ページの右中段“米山から始まった今の私”との見出しで、今の自分があるのは米山のお陰だと述べています。この寄稿文を読むと改めて米山の活動の尊さを再認識出来ると思いますので、是非ご覧いただけたらと思います。

“ロータリーの友”は、読めば読むほど素晴らしい雑誌ですので、皆さんにもお読みいただける事を願っております。

■ 出席報告

会員数46名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者30名 (内Zoom0名)
事前メイク1名 出席率77.5% 前回出席率 修正なし

■ 卓話

「市民の森整備事業（10/24）へ向けての事前学習」

・卓話者紹介 平澤理ロータリー財団委員長



本日は「NPO法人 伊那谷森と人を結ぶ協議会」代表理事 稲邊謙次郎様に卓話をお願い致しました。稲邊様は伊那谷に暮らす多くの人々と共に森との接点を見出し、豊かな森づくりに貢献することを目的として、日々ご活躍されています。

10月24日の「市民の森整備事業」の事前学習として卓話をお聞きしたいと思います。

・卓話 NPO法人 伊那谷森と人を結ぶ協議会代表理事 稲邊謙次郎様



「里山」……昭和30～40年代までは、人の（野生動物も）手により森の維持管理が行われてきた

前の東京オリンピック以降激変した

農業の機械化……牛馬が不要に

化石燃料を多用……二酸化炭素の排出……温暖化を促進

高度成長期へ突入……会社等への勤務……兼業農家……所得増

里山へ＝＝＝入らない・時間がない・必要がない

第2次燃料革命

戦中・戦後の農地拡大～耕作放棄への流れ

機械化によって時間・労力短縮軽減……兼業で経営が可能

「戦後の荒廃地への植樹」……カラマツ林の出現（ササの繁茂）

林床の貧相化

アカマツ林やコナラ林への移行……「老齢化」松くい等の被害木の発生

「野生動物」……棲家を奪われる……里地への進出

「里山放棄」……災害の多発生……山ごとの崩壊……土砂災害

「里山再生」……高齢樹の整理と以前の里山樹種の育成

……利活用の推進



■ 指名委員委嘱 池上幸平会長

・細則により、元会長、現会長・幹事・会長エレクトが指名委員に委嘱されました。

■ 点 鐘 13:30

次回例会

10月19日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店

・クラブフォーラム「デジタル化推進委員会」

My Rotary アカウント登録について

・例会終了後:理事会